



学校通信

令和3年 2月 5日 (金)

ときわぎ

それぞれの新しい年度にそなえる

校長 宮田卓郎

例年ですと立春は、2月4日、その前日である節分は2月3日になりますが、今年は、2月3日(水)が立春、節分が2月2日(火)であったため、話題になったようです。暦の上では、立春から春という扱いになります。「春は名のみの・・・」というようにまだまだ寒い日が続きますが、風の冷たさとは別に、明らかに春の兆しを感じさせるものの一つに「日の長さ」があるように感じます。12月の冬至の時の「日の入り」時間は、17時17分ごろでしたので、日が長くなったことは実感するところで、春の兆しは太陽の光の強さからも感じることができます。

本年度もいよいよ2月の上旬になってきました。いろいろな言い方がありますが「1月一時」「2月逃げ月」「3月サラサラ」という言葉を昔から聞いていました。1月は、すぐに終わってしまい、2月は逃げるよう終わっていく、そして3月はサラサラ流れるよう終わっていくということを例えた表現です。まさにそれが実感される今日この頃であります。

ところで、「卒業は終わりではなく、新しい始まりに過ぎない」という言葉があります。卒業とか卒業式とかいうと一つの段階が終わったというところでイメージが止まってしまい、次に控えている新しい段階を見逃しそうになります。それを戒める言葉であると思います。これは1, 2年生にとっても同様で、修了式を3月26日に行いますが、全く同じ感覚でこの修了式というものをとらえて欲しいと思っています。

3年生は、義務教育を修了し、4月からそれが新しいステップに進んでいきますが、そこでの教育活動は全て中学校の学びの土台の上に成立しています。つまり、これから合格や合格内定の通知を手に入れている人は、すでに新しい始まりがスタートしたという感覚で、次のステップに向けた心の準備として、中学校で身に付けなければならないことに全力をもって取り組んでいきましょう。このような環境づくりが、これから受検(受験)する友達への協力体制をつくっていくことになります。

2年生は、今年度、西階中学校を事実上支える中堅として、生徒会活動、リーダー会、部活動と大きく成長してくれましたが、学力面においてお願いがあります。2年生は、12月に実施された「みやざき小中学校学習状況調査」の結果がもうすぐ届きます。それぞれの生徒において学習内容の定着を更に上げていく必要のある教科・単元や学習観点が明確になってきます。来年度の学習は、現在の学習内容の上に展開していきます。特に、数学や、理科の第1分野、英語などの内容系統性の高い教科については、学習内容の定着に努め、新しい学年で展開される学習内容に備えていきましょう。特に、3年生では進路選択が迫ってきますので、自分の希望する進路を実現していくためにも、2年生は「みやざき小中学校学習状況調査」の結果を活用して、明確になった弱点をしっかりと補っていくことが肝要です。1年生も、同じように2年生に進級してからの学習に備えて、今の自分にとって必要な学力をしっかりと身に付けていくよう、毎日、毎時間の学習活動に全力で取り組みましょう。